

後発品の各選定基準で最も評価できる製薬企業

(単位=%)

後発品の選定基準として重要視している項目	ファイザー	沢井製薬	日医工	第一三共 エスファ	Meiji Seika ファルマ	その他
迅速かつ安定供給できる体制が整っている	22.2	45.8	14.8	4.2	7.6	5.5
品質確保のための安心感ある体制を持っている	41.5	28.6	8.3	9.6	7.2	4.8
有害事象発生時の対応がしっかりしている	52.8	18.7	4.4	16.1	5.1	2.9
問い合わせに迅速に対応するMRを多く有している	55.4	14.2	3.5	13.3	7.6	6.0
本社(コールセンター等)の問い合わせ窓口が充実	55.7	17.5	3.6	17.2	3.6	2.6
薬剤師の業務をサポートしてくれる資材が充実している	48.0	20.3	2.5	12.1	8.5	8.5
処方元からの評価が高い	46.5	20.3	8.1	11.4	4.8	8.9
医療安全に対するパッケージ・製剤の開発に取り組んでいる	39.2	24.0	7.2	10.6	8.4	10.6
WEBサイトの情報が充実している	51.3	26.1	3.5	12.8	2.7	3.5
薬剤師向けの勉強会や講演会を企画してくれる	54.0	14.6	6.2	12.4	4.9	8.0
新薬を開発する力を有している	73.9	5.1	1.4	12.3	4.3	2.9

注) 同調査では各項目で評価できる製薬企業を上位3社あげてもらったが、上表は1位の企業のみ集計した結果

出典:ネグジット総研